

各位

会社名:株式会社アールテック・ウエノ
(JASDAQ・コード:4573)

本社所在地:東京都千代田区内幸町一丁目1番7号

代表者:代表取締役社長 真島 行彦

問合せ先:ビジネスマネジメント部長 中村 宏司

電話番号:03(3596)8011

ウノプロストン(UF-021)点眼液の 網膜色素変性に対する第2相臨床試験結果を 国際学会 ARVO 2011及び日本眼科学会で発表

先に試験完了をご報告しました網膜色素変性治療薬として開発中のウノプロストン(UF-021)点眼液の第2相臨床試験結果([平成22年7月15日プレスリリースご参照](#))につきまして、平成23年5月4日に米国フロリダにて開催されました眼科学で権威のある国際学会The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2011(以下ARVO 2011)においてポスター発表、また同年5月13日に東京にて開催されました第115回日本眼科学会において口演発表しましたのでお知らせいたします。

記

ウノプロストン(UF-021)点眼液0.15%の第2相臨床試験は、中期から晩期の日本人網膜色素変性患者(視力0.5 - 1.2)112例を対象とした無作為化二重盲検並行3群間比較試験(6施設共同)(プラセボ、UF-021点眼液1回1滴、UF-021点眼液1回2滴(5分間隔)の1日2回、24週間点眼)でした。

千葉大学大学院医学研究院眼科学の山本修一教授はMP-1微小視野計による中心2度の網膜感度に関する成績を発表されました。

ARVO 2011 poster: #4992/A416

(学会からHot Topicに選出されました)

「Microperimetry Shows Protection of Central Vision in Retinitis Pigmentosa Patients Treated with UF-021: A Phase 2 Study」

第115回日本眼科学会 02-237

「網膜色素変性に対するUF-021点眼液の臨床試験(PII)における微小視野計の評価」

千葉大学大学院医学研究院眼科学の菅原岳史講師はハンフリー視野計(10-2)の中心2度の網膜感度と視機能についてのアンケート(VFQ-25)に関する成績を発表されました。

ARVO 2011 poster: #4994/A418

「Humphrey Perimetry 10-2 Assessment of Retinitis Pigmentosa Patients in Phase 2 Study of UF-021」

第115回日本眼科学会 02-236

「網膜色素変性に対するUF-021点眼液の臨床試験(PII):ハンフリー視野計評価」

網膜色素変性について

網膜色素変性は遺伝性の疾患で、有病率は世界中で約5,000人に1人、国内においては、4,000～8,000人に1人と報告されています。この数字をわが国の人口1億2千8百万人にあてはめれば、本疾患患者数は約16,000～32,000人と概算され、希少疾病に分類されます。一方、世界人口を67億5千万人(2008年)から推定すると全世界での網膜色素変性患者数は推計135万人とされています。進行すると薄暗いところでものが見えにくくなるなどの進行性の夜盲や視野狭窄、そして視力低下をきたし、末期には高度の視力低下あるいは失明にいたることもあります。難病に指定されていますが、現時点では適切な治療薬や治療法が確立されていません。

アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは1989年9月に設立され、医薬品の研究開発、製造販売及び研究開発支援サービスを行う創薬ベンチャー企業です。

医師でもある真島社長のもと、「Physician-Oriented New Drug Innovation (臨床医による新薬開発)」をテーマに、「医師の目線で医薬品開発・販売を行う分野特化型のグローバルな医薬品会社」を目指しています。

眼科および皮膚科に特化し、これまで有効な治療薬のない疾患をターゲットに、国が推奨および支援するアンメット・メディカル・ニーズ(未だ満たされていない医療ニーズ)、希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)、アンチエイジング(生活改善薬)の各領域における新薬の開発を進めています。

以上